

全ての争議を解決し
安全・安心の航空へ

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.1008 (35-29) 2021年3月2日

第2弾

JAL 争議について私はこう思います

5名の国会議員の方々から頂いたコメントを624号で紹介しましたが、その後もコメントが届いています。第2弾として本号で紹介致します。



立憲民主党 石川香織衆議院議員



JAL 不当解雇争議団の皆さんが闘い続けて丸10年が経ちました。昨年から今年にかけてはコロナ禍で思うように解決に向けての取り組みも十分にできないであろう中で、粘り強く議員会館に足を運ばれる争議団の皆さんの姿に本当に心を打たれます。何とか力になればと歯がゆい思いを毎回しています。

今、航空業界は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、厳しい状況に置かれています。賃金低下や雇用は守られるのかなどといった不安を抱えながら働いていらっしゃるのではないかと思います。

日本航空の赤坂社長は「雇用は守る」といち早くメッセージを発信しましたが、その上でも、10年前に165名の職員を不当に解雇された過去について、しっかり解決をする事はとても重要だと思います。「雇用を守る」という言葉を行動で表し、コロナ禍での不安の中で働く日本航空の職員の皆さんに対しても、会社の力強い決意を伝える事ができるからです。

争議団の皆さんが闘ってこられた10年間という時間は取り戻せませんが、過去に向き合わず問題を置き去りにする事は決して許されません。一生懸命会社のために働いた職員たちの気持ちをしっかり汲んで、誠実に過去に向き合い解決に向けて行動を見える形で最善の努力をするのが会社の責任ではないでしょうか。

これからも党派を超えて、解決に向けて力を合わせていくことをお誓い申し上げます。



無所属 ながえ孝子参議院議員

日本航空をよく利用しています。いつも快適に愛媛と東京を往来させて頂いています。ですが、2010年に経営破綻をした際の、強制解雇には、いまも腑に落ちない思いを感じています。10年が過ぎ、今はコロナによる全産業が厳しく苦しい時期ですが、今この時期だからこそ、強制解雇された165名の方々と、正式に話し合いをし、巻き戻せない時間と穏やかになれない心を、つなぐ具体的な行動を経営側に期待しています。



自由民主党 馳浩衆議院議員

いわゆる不当解雇問題等について現状はどうなっているのでしょうか。大変に深い関心を持っています。この問題があまり長すぎるのは良くないことであると思っております。
(2018年9月18日に国連大学で行われた「オリパラ組織委員会とILO共催によるディーセント・ワーク実現に向けたフォーラム」において、JALの人財部長に対する発言)